

「志をもって生きる」～向上・礼節・思いやり～

平成29年4月10日 校長 加藤 英優

「志をもって生きる」

4月7日、始業式に続いて入学式を行いました。私が生徒たちに投げかけたのは、桜丘中学校の教育目標であるこのことばです。「志をもつ」とは、こうしたい、こうなりたいという願いや目標をもって生きるということです。本校で学ぶ全ての生徒に「志」のある生活を送って欲しいと切に願っています。

教育の目指すところは、端的に表現すれば、「自立」です。そのために果たす学校の使命は、長い人生を、強く逞しく生き抜いていくために必要な土台をつくることだと考えます。社会の変化は加速度的に速くなっていますばかりで、数年先さえ予測することが非常に困難です。人工知能AIの発達が目覚ましく、今の中学生が社会人として働く頃には、人が就く仕事の有り様は大きく変わっているかもしれません。そんな時代であっても、そんな時代であるからこそ、自分の特長やよさを自覚し積極的に発揮できるように準備をしておくことが求められます。どんな世の中になんでも、人としての本質は変わりません。3年間の中学校生活を通して、自己のよさを発揮し、自分らしく生き生きと生きていくための基礎力を身に付けさせたいと思っています。

向上…常に自分を高める生徒。礼節…ルールやマナーを守る生徒。思いやり…感謝と思いやりの心をもつ生徒。本校の教育目標に添えられた三つの重点は、自立し、信頼するに足る人であるための大切な力です。こうした力を身に付けるために、昨年度より、「桜中ABCD」(Aあたりまえのことを、Bばかりにしないで、Cちゃんとやる人こそ、Dできる人)を合い言葉に生活の質の向上に取り組んできました。その結果、卒業した生徒たちを含め、どの学年も、本当に成長できたと実感しています。生徒会長

をはじめとする生徒会執行部(各委員長も)の生徒たちも、誇りある学校づくりを目標に、熱い思いで、学校づくりの推進力としての使命を果たしており、大変心強い限りです。私たち学校の職員にとって最大の支援は、保護者の皆様にご理解とご協力をいただされることです。今年度も変わらぬお力添えをいただきますようよろしくお願ひいたします。

志をもって生きる

学校の教育目標

- 一、常に自分を高める生徒
- 二、ルールやマナーを守る生徒
- 三、感謝と思いやりの心をもつ生徒

『礼節』『向上』
『思いやり』

